

2025年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人ミニカワサキ

1 事業の成果

小学4年生から、高校2年生までのこども運営メンバーを中心に、4月より運営会議を行い、10月に開催した「こどものまちミニカワサキ 2025」の準備をしました。なつやすみ期間中には、「こどもワークショップ」に力を入れ、11回のワークショップを行い、新しい繋がりができました。こども会議は、すべてこども運営メンバーで運営しました。

10月の「こどものまちミニカワサキ 2025」は、みどりの共創コミュニティ“midori-ba”さんとの共同開催で、川崎市役所 1階アトリウムでの「こどものまちミニカワサキ」の開催が実現、当日の運営もこども運営メンバーが主導権をもち実施することができました。地域の企業や団体が、具体的に物品や、人材を提供してくださり、講評のうちに開催することができました。

昨年度より準備をしていた NPO 法人の取得の手続きが整い、5月26日に正式提出、横浜地方税務局に法人届け出て8月13日に NPO 法人格を取得しました。

2 事業内容

(1)特定非営利活動に係る事業

① こどもが創るまち「ミニカワサキ」の開催及び普及啓発に関する事業

ア)こどもまちづくりクラブ事業

・**内容** :「こどもまちづくりクラブ」は、川崎市内在住・在学の2年生以上18歳以下の子供を対象に36名定員で募集。メンバー募集チラシは、6月に配布し、令和6年(2024年度)から学校でのチラシ配布が制限され、これまでの半分程度の学校でしか配付ができませんでした。チラシ25,000部(昨年-10,000部)を作成し、中原区、高津区、川崎区、幸区の小学校の一部、川崎市7区の市民館・図書館、川崎市内53カ所のこども文化センター分を仕分けし、配布しました。全4回の会議を行い、「こどものまちミニカワサキ 2026」をつくりあげました。

・日時

9/1 こども会議① まちたんけん、まちってなに?しごとってなに?

9/23 こども会議② まち全体を考える、自分の仕事を決める

10/5 こども会議③ おみせの場所を決める、求人票、アルバイト説明を考える

11/9 こども会議④ 振り返り、お楽しみ会

・**場所** かわさき市民活動センター

・**従事者人員** 21人(運営メンバー)

・**対象者** 17人(こどもまちづくりクラブメンバー)

・**費用額** 49,533円

②「こどものまちミニカワサキ」の実施

・**内容** :みどりの共創コミュニティ midori-ba との共同開催にて、「こどものまちミニカワサキ 2025」を開催。さまざまな団体との共同企画の幅が広がりました。

Amazon 川崎 FC さんから提供いただいた 360 枚もの段ボールを活用して、まちの骨格をつくる新しい取り組みを行いました。川崎区SDC地域活動助成金を活用して、外国にゆかり

のある子ども達や、支援の必要な家庭の子ども達への招待券を作成し、関係者に協力いただ
いて配付しましたが、参加には至らず。次年度に活かしていきます。

- ・日時：2025年10月11日(土)～12日(日)の2日間
- ・場所：川崎市役所1階アトリウム(川崎区宮本町1)
- ・従事者人員：21人(運営メンバー)、11人(サポーター)
- ・対象者：10/11(土)登録市民数166名、10/12(日)250名
- ・費用額 179,295円

ウ「こどものまち」の普及啓発に関する事業
今年度は事業としての開催なし

② 子どもの創造性や自主性を発揮する企画、運営事業

ア こどもワークショップ事業

・内容 ミニカワサキをより楽しめるように、一般参加を募る「なつやすみワークショップ」を実施しました。地域の企業や団体みなさんや、技術を教えてくださいの方々と新たなつながりができました。参加人数は、目標の半数ほどにとどまりました。なつやすみ中でも、土日でない
と保護者が連れて来られないなどの課題もあきらかになったので、次年度に活かしたいです。

▼ #1「まちを元気にするお金のしくみ」/静岡銀行川崎支店・溝ノ口支店

- ・日時：7/30
- ・場所：かわさき市民活動センター
- ・従事者：2名
- ・対象者：参加人数8名

▼ #2「日本のおかね 世界のおかね」/キッズマネーステーション

- ・日時：7/30
- ・場所：かわさき市民活動センター
- ・従事者：2名
- ・対象者：参加人数11名

▼ #3「ヒット商品開発研究所①カフェ編」/キッズマネーステーション、Book&CafeStand Shinjo Gekijo

- ・日時：7/31
- ・場所：Book&CafeStand Shinjo Gekijo
- ・従事者：2名
- ・参加人数14名

▼ #4「やってみよう！こどもカメラマン」/ソーシャルデザインスタジオニアカリ 岡田恵利子先生

- ・日時：7/31
- ・場所：かわさき市民活動センター
- ・従事者：2名
- ・対象者：参加人数7名

▼ #5「ヒット商品開発研究所②お菓子屋さん編」/キッズマネーステーション、菓子工房ichie

- ・日時:8/3
- ・場所:川崎市国際交流センター
- ・従事者:2 名
- ・対象者:参加人数 13名
- ▼ #6「ヒット商品開発研究所③オリジナル商品編」/キッズマネーステーション、サノマキコ先生
- ・日時:8/3
- ・場所:川崎市国際交流センター
- ・従事者:2 名
- ・対象者:参加人数 10 名
- ▼ #7「ミニカワサキものづくり部」
- ・日時:8/3
- ・場所:川崎市国際交流センター
- ・対象者:参加人数 10 名
- ▼ #8「まちづくりゲームカタログワークショップ」/安藤哲也先生
- ・日時:8/4
- ・場所:かわさき市民活動センター
- ・従事者:2 名
- ・対象者:参加人数 11 名
- ▼ #9「ボードゲームであそんでみよう」/安藤哲也先生
- ・日時:8/4
- ・場所:かわさき市民活動センター
- ・従事者:2 名
- ・対象者:参加人数 13 名
- ▼ #10「こどものまちのしくみを知ろう」/川崎市こども未来局
- ・日時:8/6
- ・場所:かわさき市民活動センター
- ・従事者:2 名
- ・対象者:参加人数 11 名

- ・費用額(合計):113,089 円

③ 子どもとまちづくりの関わりに関する研究、企画開発に関する事業

ア 運営会議

・内容:「募集要項」は、2025年度の運営メンバーで決定し、前年度までの「こどもまちづくりクラブメンバー」の中から公募をおこないました。「こどものまちミニカワサキ 2025」の開催準備、団体全体の運営を考えるための会議を年間 11回開催しました。

・日時:

4/20 運営会議① 2025年度総会

4/27 運営会議② 広報・運営課題の洗い出し

- 5/25 運営会議③ 川崎市役所視察、まちづくりクラブメンバー募集要項決め
6/15 運営会議④ まちづくりクラブメンバー募集チラシ最終調整、こども会議準備
7/13 運営会議⑤ チラシ仕分け、選考会議、協賛先相談
8/7 運営会議⑥ 広報緊急会議
8/30 運営会議⑦ こどものまち仕組み相談
9/1 運営会議⑧ 第1回こども会議の運営
9/23 運営会議⑨ 第2回こども会議の運営
10/5 運営会議⑩ 第3回こども会議の運営
11/9 運営会議⑪ 第4回こども会議・反省会・振り返り会

・場所：かわさき市民活動センター

・従事者：6名(大人運営メンバー)、15名(こども運営メンバー、小学4年生から高校2年生)

・対象者：同上

イ「こどものまち」立ち上げ支援

・内容：千葉県松戸市こども政策課(ジャパンインターナショナル総合研究所に委託)の依頼で、「ミニ★まつど」の立ち上げ支援を行いました。7月から準備会議を行い、11/9 流通経済大学にて「第1回こどものまちミニ★まつど」の実現まで伴走することができました。

・日時：4/8、6/10、7/27、9/7、10/19、11/9

・場所：オンライン、かわさき市民活動センター、松戸市役所、流通経済大学新松戸校舎

・従事者：1名

・対象者：松戸市民の子ども達約150名

ウ その他の地域への「こどものまち」立ち上げの相談、講演など

・内容：9/11に日本女子大学「社会連携を学ぶ」講座に登壇し、子どもの参画と地域活動との繋がりについて代表大城が講演しました。その後、「社会連携科目」の実習先連携団体として登録、10月のミニカワサキ当日には、日本女子大学より8名のボランティアが参加してくれました。

また、10/25に東京都中央区、協働ステーション中央の十思カフェにて、ミニカワサキの取組みについて代表大城が講演しました。

その他、ボランティア募集サイト Activo を通じてボランティアに参加してくれた、昭和女子大学4年生の卒業論文のための調査先として受け入れをしたほか、武蔵野美術大学4年生の卒業制作の実践先として工房の運営を行っていただきました。

・日時：9/11、10/25、他

・場所：日本女子大学目白キャンパス、協働ステーション中央(小伝馬町)、他

・従事者：1名

・対象者：日本女子大学「社会連携を学ぶ」講座履修生約50名、十思カフェ参加者約20名、ボランティア参加者約20名

・費用額(合計)：194,991円

④ 地方自治体や地域活動団体、国際交流団体等公益団体との協働事業

- ・内容:「こどものまちミニカワサキ」の活動を役立てていただける地域活動団体との協働事業、協力企画を行いました。

11/29 グランツリー武蔵小杉・中原市民館で開催された「中原区こども未来フェスタ」にて、「こども JOB センター」を実施しました。こども未来フェスの出展ブースに、一般の子ども達が「おてつだい派遣」されるしくみです。「こどものまち」で大切にしている子ども参画を実践する場になりました。

- ・日時:11/29

- ・場所:グランツリー武蔵小杉・中原市民館

- ・従事者:10 名

- ・対象者:登録者 87 名、その他、通りかかった市民約 100 名

⑤ その他、目的を達成するために必要な事業

今年度開催なし。